



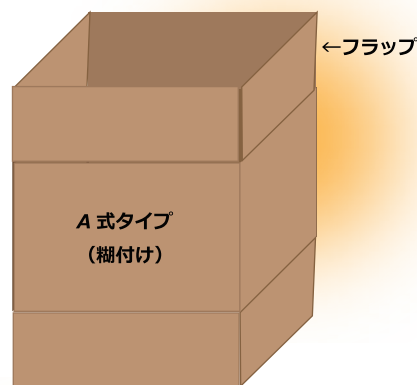
効率アップの基礎知識 包装機器の選び方

vol. 05 包装作業の種類と内容について (箱詰め段ボールケーサー編)

段ボールケーサーは単品または複数の製品を段ボール箱に詰めて封緘する「外装箱用」の箱詰め機です。

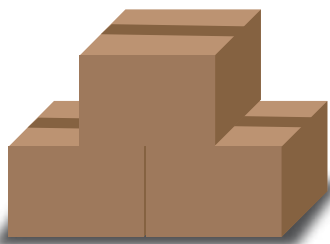
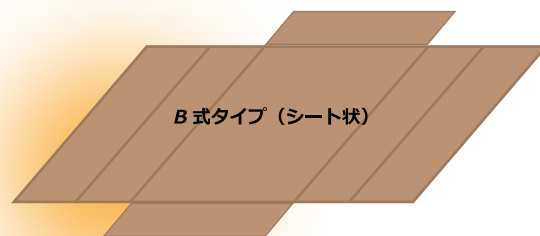
■セットアップ型 (A 式タイプ)

両端を貼り合わせた段ボールを、折り畳んだ平らな状態でセットし、それを機械で「口の字」に広げて底のフラップを折り込み（貼り付けし）被包装物を供給します。次に天面のフラップも同様に折り込み貼り付けします。被包装物の供給は、天面から供給するタイプと、横向きを集積し側面から供給するタイプの2つの方式があります。



■ラップランド型 (B 式タイプ)

セットアップ型との違いとして、糊付けされていないシート状の段ボールを使用します。被包装物を供給する流れで、段ボールを箱型に形成します。耐荷重はA式タイプより劣るため軽量物が対象となります。



被包装物の適正や、箱のサイズ、集積数、集積形態などにより包装能力は異なりますが、セットアップ型は毎分8～15ケース程。ラップランド型は汎用タイプで毎分30ケース程となります。缶ビールなどのケースでは水平高速搬送タイプで、60～80ケース程となります。